

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「GSビッグデータ・ストラテジー(欧州株)Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)」は、欧州の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI(人工知能)を活用した独自開発の計量モデルを用いて多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行ってまいりましたが、2022年1月27日に償還いたしました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げますとともに、受益者の皆様のご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

#### Aコース(為替ヘッジあり)

償還日(2022年1月27日)		第9期	
償還価額	12,669.23円	騰落率	0.85%
純資産総額	44百万円	分配金合計	0円

#### Bコース(為替ヘッジなし)

償還日(2022年1月27日)		第9期	
償還価額	12,422.14円	騰落率	2.55%
純資産総額	131百万円	分配金合計	0円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められております。償還運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

#### 〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「新規設定ファンドのお知らせ／償還ファンド一覧」⇒「償還ファンド」タブを選択⇒本ファンドの「運用報告書(全体版)」を選択

## 交付償還運用報告書

# GSビッグデータ・ストラテジー(欧州株)

Aコース(為替ヘッジあり)

Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式

第9期(信託終了日2022年1月27日)

作成対象期間: 2021年9月16日～2022年1月27日

## ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

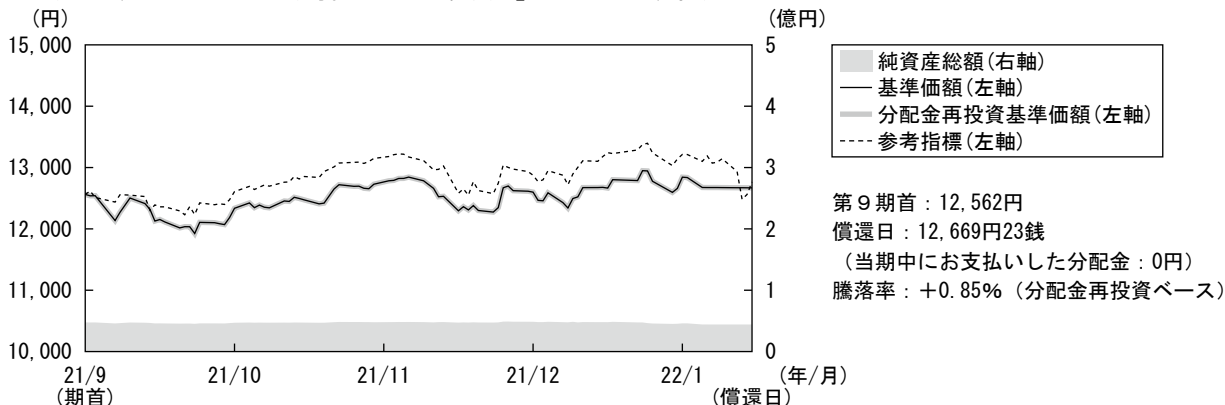
〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー  
お問合せ先: 03-6437-6000(代表)  
受付時間: 営業日の午前9時～午後5時 | [www.gsam.co.jp](http://www.gsam.co.jp)

## 運用経過

■ 基準価額等の推移について（2021年9月16日～2022年1月27日）

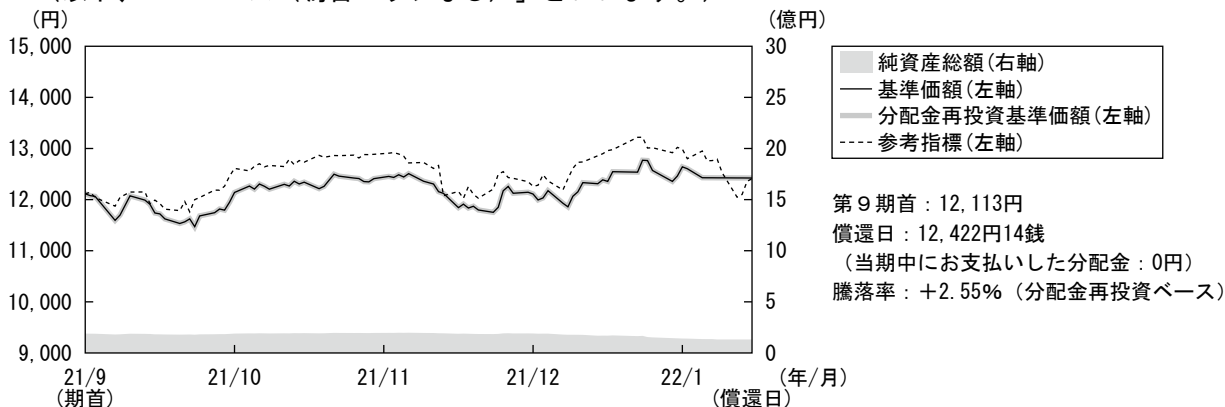
○GSビッグデータ・ストラテジー（欧州株）Aコース（為替ヘッジあり）

（以下、「Aコース（為替ヘッジあり）」といいます。）



○GSビッグデータ・ストラテジー（欧州株）Bコース（為替ヘッジなし）

（以下、「Bコース（為替ヘッジなし）」といいます。）



（注1）参考指標は、Aコース（為替ヘッジあり）はMSCIヨーロッパ・インデックス（配当込み、円ヘッジ・ベース）、Bコース（為替ヘッジなし）はMSCIヨーロッパ・インデックス（配当込み、円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

（注2）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注3）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

（注4）分配金再投資基準価額、参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

## ■ 基準価額の主な変動要因

- Aコース（為替ヘッジあり）の基準価額は、期首の12,562円から107円23銭上昇し、償還日には12,669円23銭となりました。
  - Bコース（為替ヘッジなし）の基準価額は、期首の12,113円から309円14銭上昇し、償還日には12,422円14銭となりました。
- （以下、2ファンドを総称して「本ファンド」といいます。）

### 上昇要因

欧州株式市場（現地通貨ベース）が上昇したこと、素材や公益事業セクターを中心に銘柄選択効果がプラス寄与になったことなどが、基準価額の上昇要因となりました。また、Bコース（為替ヘッジなし）においては、英ポンドなどが円に対して上昇したことも、基準価額の上昇要因となりました。

### 下落要因

ヘルスケアや金融などのセクターにおける銘柄選択がマイナス寄与となったこと、オランダやスウェーデンにおける国別配分効果がマイナス寄与となったことなどが、基準価額の下落要因となりました。

## ■ 組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資ベース）

ファンド名	騰落率 (ユーロベース)	騰落率 (円換算ベース)
ゴールドマン・サックス・ヨーロッパ COREエクイティ・ポートフォリオ* <sup>1</sup>	3.77%	5.11%
ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド* <sup>2</sup>	-0.22%	1.06%

（注）純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

- \*1 ルクセンブルク籍外国投資証券（ユーロ建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. - ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス
- \*2 アイルランド籍外国投資証券（ユーロ建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー-ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド X アキュムレーション・クラス

## ■ 1万口当たりの費用明細

○Aコース（為替ヘッジあり）

項目	当期		項目の概要
	2021年9月16日～2022年1月27日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	62円 (30)	0.495% (0.242)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种種類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(30)	(0.242)	
(受託会社)	(1)	(0.010)	
その他費用 (保管費用) (その他)	15 (9) (6)	0.122 (0.073) (0.049)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	77	0.617	

期中の平均基準価額は12,447円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

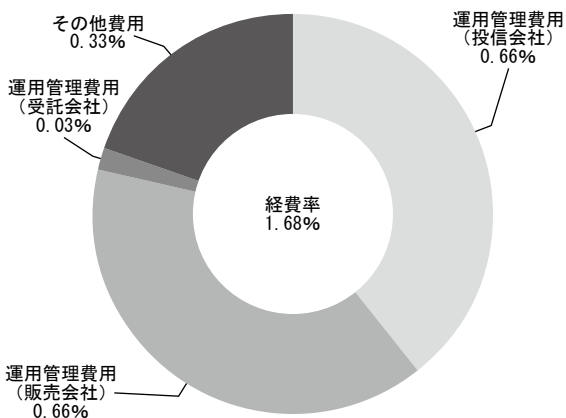
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

### （参考情報）

## ■ 経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税及び投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.68%です。



経費率 (①+②)	1.68%
①このファンドの費用の比率	1.68%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	-%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ■ 1万口当たりの費用明細

○Bコース（為替ヘッジなし）

項目	当期		項目の概要
	2021年9月16日～2022年1月27日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	60円 (29)	0.495% (0.242)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种種類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(29)	(0.242)	
(受託会社)	(1)	(0.010)	
その他費用 (保管費用)	7 (3)	0.062 (0.022)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(その他)	(5)	(0.040)	
合計	67	0.557	

期中の平均基準価額は12,129円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

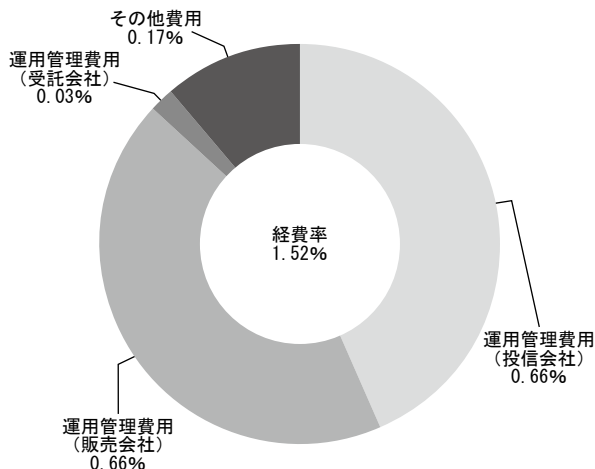
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

### (参考情報)

## ■ 経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税及び投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.52%です。



経費率 (①+②)	1.52%
①このファンドの費用の比率	1.52%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	-%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

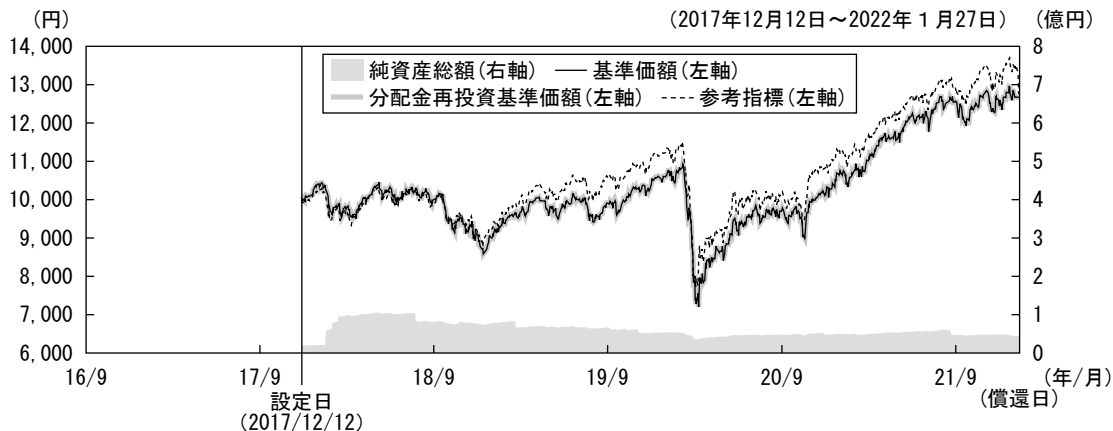
(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

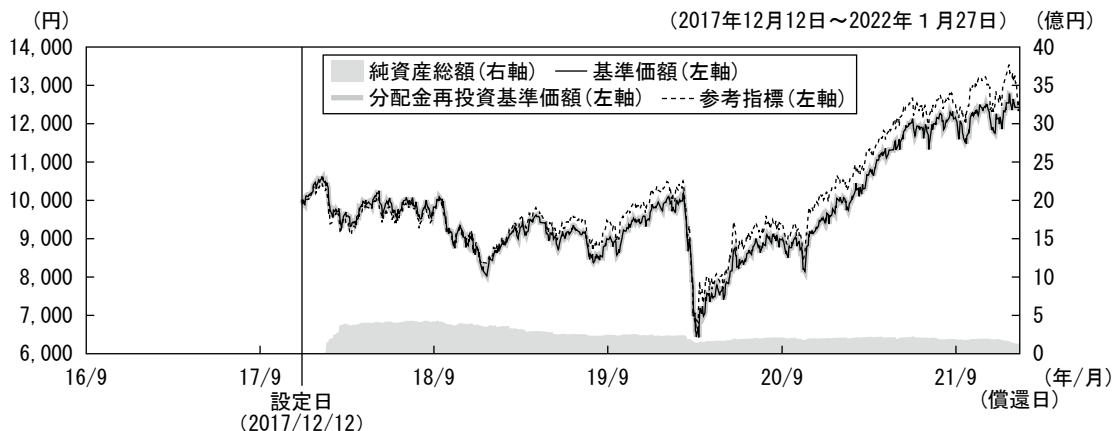
(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について

### ○Aコース（為替ヘッジあり）



### ○Bコース（為替ヘッジなし）



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額、参考指標は、設定日（2017年12月12日）の基準価額を起点として指数化しています。

■ 最近5年間の年間騰落率

○Aコース（為替ヘッジあり）

	2017/12/12 設定日	2018/9/18 決算日	2019/9/17 決算日	2020/9/15 決算日	2021/9/15 決算日	2022/1/27 償還日
基準価額（分配落）（円）	10,000	10,013	9,900	9,724	12,562	12,669
期間分配金合計（税引前）（円）	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	0.13%	-1.13%	-1.78%	26.89%	0.85%
参考指標騰落率	—	-0.80%	6.33%	-3.48%	21.79%	1.62%
純資産総額（百万円）	20	81	66	48	47	44

○Bコース（為替ヘッジなし）

	2017/12/12 設定日	2018/9/18 決算日	2019/9/17 決算日	2020/9/15 決算日	2021/9/15 決算日	2022/1/27 償還日
基準価額（分配落）（円）	10,000	9,818	8,977	8,985	12,113	12,422
期間分配金合計（税引前）（円）	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	-1.82%	-8.57%	0.09%	34.93%	2.55%
参考指標騰落率	—	-2.61%	-3.48%	0.17%	31.88%	2.48%
純資産総額（百万円）	10	421	246	211	189	131

（注）設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## ■ 投資環境について

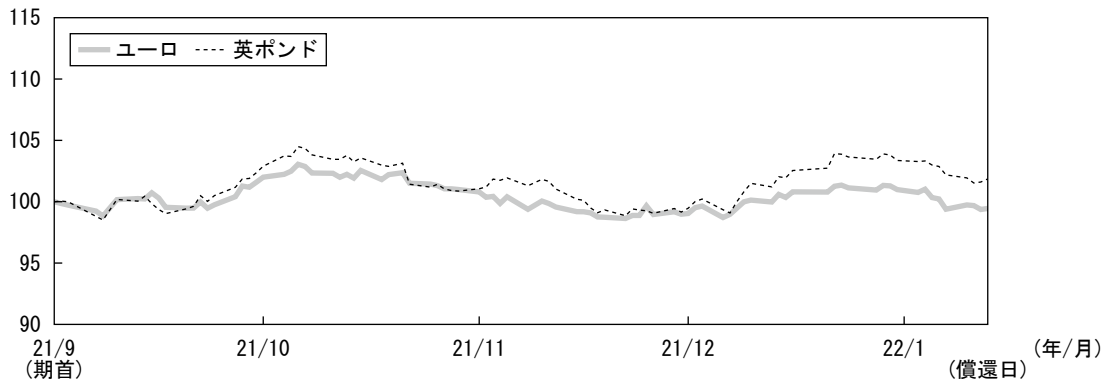
### <欧州株式市場>

当期の欧州株式市場は上昇しました。期初は、エネルギー供給不足への懸念などが重しとなり、下落する場面も見られたものの、本格化する企業決算において、多くの企業が堅調な業績を発表したことで景気回復への期待が高まり、欧州株式市場は上昇しました。その後も、米ファイザーが開発中の新型コロナウイルスの治療薬に対する期待を手掛かりに欧州株式市場は上昇基調で推移しました。しかし11月末になると、南アフリカで検出されたより強い感染力を持つ新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン」に対する不安から投資家のリスク回避姿勢が強まり、欧州株式市場は急落しました。期の後半は、オミクロン株によって米国はじめ世界経済の成長が阻害されることはないとの認識が広まったことから、年末にかけて一段高となりました。しかし2022年に入ると一転、FOMC（米連邦公開市場委員会）議事要旨において、早期利上げの可能性が示唆され、世界株式市場は大幅に続落しました。さらに、ウクライナを巡るロシアと西側諸国との緊迫化もマイナス材料となり、欧州株式市場は下落しました。

### <外国為替市場>

当期の外国為替市場では、ユーロは対円で上昇した一方、英ポンドは対円で下落しました。

### ○為替レート（対円）の推移



(注) 各通貨は期首を100として指数化しています。

出所：一般社団法人投資信託協会

### <短期金融市場>

当期において、1ヵ月物EURIBOR（欧州銀行間取引金利）は前期末の-0.56%程度から-0.57%程度まで低下して償還日を迎えました。



## ■ ポートフォリオについて

### <本ファンド>

本ファンドは、ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオを概ね高位に組入れることで、欧州の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。また、Aコース（為替ヘッジあり）では対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減をめざしました。

### <ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオ>

欧州の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI（人工知能）を活用したゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざしました。

当期においては、国別配分効果と銘柄選択効果がともにマイナス寄与となりました。国別配分効果では、オランダやスウェーデンを中心にマイナス寄与となった一方、銘柄選択効果では、ヘルスケアや金融セクターなどがマイナス寄与となりました。また、当運用では、最新のビッグデータや伝統的な市場・業績データ等をもとに、モメンタム（Momentum）・バリュー（Value）・収益性（Profitability）の投資テーマを通じた評価基準（MVPモデル）に基づき、投資魅力度を総合的に評価していますが、当期は、「バリュー」がプラス寄与になった一方、「収益性」と「モメンタム」はマイナス寄与となりました。

### <ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド>

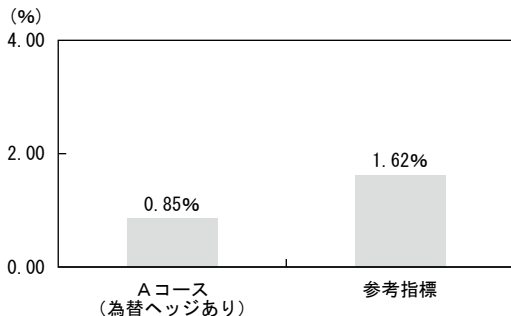
主としてユーロ建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、ユーロベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

## ■ ベンチマークとの差異について

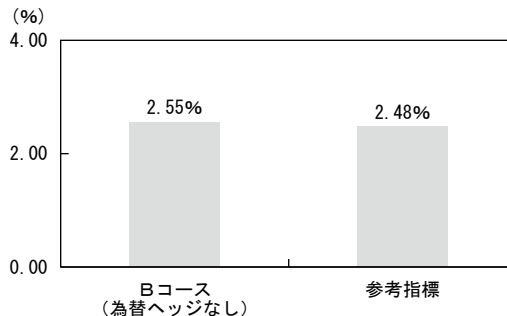
本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

### <当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）>

#### ○Aコース（為替ヘッジあり）



#### ○Bコース（為替ヘッジなし）



(注) 各コースの基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期のAコース（為替ヘッジあり）のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、+0.85%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+1.62%となりました。Bコース（為替ヘッジなし）のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、+2.55%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+2.48%となりました。

以上のような運用の結果、信託期間終了時における償還価額はAコース（為替ヘッジあり）は12,669円23銭、Bコース（為替ヘッジなし）は12,422円14銭となりました。

本ファンドは、信託約款の規定に基づき、2022年1月27日をもちまして繰上償還させていただくことになりました。

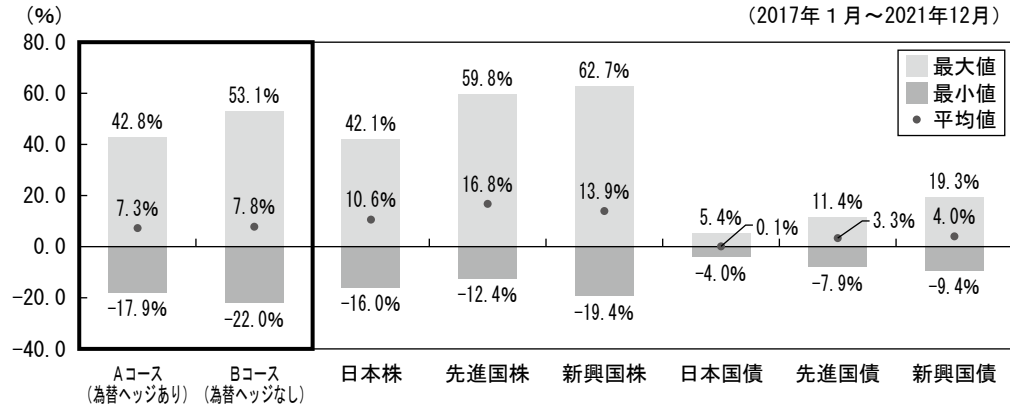
本ファンドを長らく保有頂きました受益者の皆様のご愛顧に感謝いたします。

## 本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2022年1月27日（繰上償還日）まで
運用方針	主として欧州の株式を主要投資対象とし、計量分析を用いて投資対象のリターン予測を行うと同時にポートフォリオのリスク・リターン特性の最適化プロセスを経ることによりリスク管理を行う投資信託証券への投資を通じ、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルクセンブルク籍外国投資証券            ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V.            ①ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオ</li> <li>・アイルランド籍外国投資証券            ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー            ②ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド</li> </ul>
指定投資信託証券①	欧州の株式
指定投資信託証券②	ユーロ建ての短期の市場性を有する金融市場証券
運用方法・組入制限	①外貨建資産については、Aコースでは、原則として対円での為替ヘッジを行い、Bコースでは、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ②投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とします。 ③株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎年3月15日および9月15日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

## （参考情報）

### ■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2017年1月から2021年12月の5年間における1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## 本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容（2022年1月27日現在）

< Aコース（為替ヘッジあり） >

○ 組入れファンド

有価証券等の組入れはございません。

○ 資産別配分



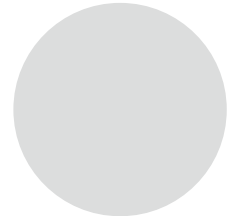
その他現金等  
100.0%

○ 国別配分



日本  
100.0%

○ 通貨別配分



日本円  
100.0%

（注）上記の比率は全てAコース（為替ヘッジあり）の純資産総額に対する割合です。

< Bコース（為替ヘッジなし） >

○ 組入れファンド

有価証券等の組入れはございません。

○ 資産別配分



その他現金等  
100.0%

○ 国別配分



日本  
100.0%

○ 通貨別配分



日本円  
100.0%

（注）上記の比率は全てBコース（為替ヘッジなし）の純資産総額に対する割合です。

## ■ 純資産等

### ○Aコース（為替ヘッジあり）

項目	償還日
	2022年1月27日
純資産総額	44,148,020円
受益権総口数	34,846,640口
1万口当たり償還価額	12,669円23銭

（注）期首元本額は37,838,039円、当作成期間中において、追加設定元本額は2,276,007円、同解約元本額は5,267,406円です。

### ○Bコース（為替ヘッジなし）

項目	償還日
	2022年1月27日
純資産総額	131,996,401円
受益権総口数	106,258,958口
1万口当たり償還価額	12,422円14銭

（注）期首元本額は156,167,516円、当作成期間中において、追加設定元本額は8,471,487円、同解約元本額は58,380,045円です。

## ■ 組入上位ファンドの概要

組入れはございません。